

海外友好都市ドイツ連邦共和国ベルリン市ミッテ区訪問報告書

- 1 訪問期間 令和6年8月17日(土)～8月23日(金) 7日間
- 2 訪問先 海外友好都市 ドイツ連邦共和国ベルリン市ミッテ区
- 3 訪問目的 新宿区とドイツ連邦共和国ベルリン市ミッテ区との友好都市提携30周年に加え、相互に青少年受入事業を行っているミッテ区長から、令和6年3月に新宿区長及び新宿区議会議長あてに同年8月のミッテ区への招待を受けた。
海外友好都市との交流を目的に、ミッテ区長表敬訪問、議員交流及び青少年交流事業の視察・意見交換のため、ミッテ区を訪問した。
- 4 訪問者 【議員】 ひやま 真一 新宿区議会議長
渡辺 清人 議会運営委員会委員長
佐藤 佳一 総務区民委員会委員長
井下田 栄一 総務区民委員会委員
【随行者】 下杉 正樹 議会事務局長

5 日程、訪問・視察先

月 日	内 容 等
8月17日(土)	東京発
8月18日(日)	ベルリン着
8月19日(月)	ミッテ区長及びミッテ区議会表敬訪問、意見交換 ティアガルテン庁舎議会室等の見学 ミッテ区議会議員及びミッテ区関係者との昼食・懇談会 ブランデンブルク門、ホロコーストメモリアル 視察
8月20日(火)	青少年交流事業の視察、意見交換 シャルロッテンブルク宮殿、カイザーヴィルヘルム記念教会、 イーストサイドギャラリー 視察
8月21日(水)	青少年交流事業の視察 ベルリン大聖堂、博物館島、アレクサンダー広場、 ベルリンの壁記念館、ドイツ連邦議会議事堂 視察
8月22日(木)	テレビ塔、チェックポイント・チャーリー、壁博物館 視察 ベルリン発
8月23日(金)	東京着

6 ミッテ区について

(1) 概要

人口：約39万人（ベルリン市：約376万人） ※日独協会資料より

面積：39.47km²（ベルリン市：約892km²）

特徴：ベルリン市に12区ある行政区のひとつ。ドイツ連邦議会議事堂などの首都機能が集まった地域で、ブランデンブルク門や博物館、美術館といった歴史的に有名な建造物や文化施設も立ち並び、広大なティアガルテン公園を有する緑豊かなまち。

(2) ミッテ区と新宿区

新宿区は、1990年よりベルリン市の中心に位置するティアガルテン区と友好交流を開始し、カイザーヴィルヘルム記念教会バツハ合唱団が新宿区民第九合唱団と共演した際、ティアガルテン区長と新宿区長が会見を行った。

また、相互に青少年交流などを通じて交流を重ね、1994年（平成6年）7月6日に友好都市提携を調印した。青少年交流事業はその後も継続され、相互に派遣、受入を行ってきている。

2001年にはティアガルテン区と近隣のミッテ区、ヴェディング区が合併し、新ミッテ区が発足している。

(3) 主な交流のあゆみ

1990年7月 ベルリン日独センター事務総長が新宿区を訪問し、友好都市提携の提案を内容とするティアガルテン区長からの書簡を受け取る

1990年12月 カイザーヴィルヘルム記念教会バツハ合唱団が来日し、新宿文化センターで新宿区民第九合唱団と共演

1992年8月 初の青少年交流事業として、新宿区の青少年一行22名をティアガルテン区に派遣（その後相互に派遣、受入を継続）

1992年9月 新宿区議会議員海外事情視察団がティアガルテン区を訪問（議員11名）

1994年7月 友好都市提携調印、ティアガルテン区長一行8名が来日

1994年10月 新宿区長及び区議会議長一行11名が、友好都市提携を記念してティアガルテン区を訪問（議長、議員4名）

2001年1月 新ミッテ区成立（ティアガルテン区、ミッテ区、ヴェディング区が合併）

7 事前学習会

(1) 日程 令和6年8月1日(木) 午後2時～4時

(2) 講師 公益財団法人日独協会 常務理事 柚岡一明 様

(3) 内容 日独間の歴史、ベルリン市及びミッテ区の状況（人口、議会構成等）、東西ドイツとベルリンの壁、生活習慣とマナー、等

8 訪問・視察等報告

(1) ミッテ区長及びミッテ区議会表敬訪問、意見交換

・ミッテ区ティアガルテン庁舎 2 階会議室 午前 10 時から 12 時まで (30 分程延長)

・ミッテ区出席者 (11 名)

シュテファニー・レムリンガー区長	《緑の党》
クリストフ・ケラー理事者 (青少年担当)	《左派党》 ディー・リンケ
シュテファン・フォン・ダッセル議員 (元区長)	《緑の党》
モニカ・トラウトマン議員	《CDU》 ドイツキリスト教民主同盟
オラフ・レムケ議員	《CDU》
ヴェラ・モルゲンシュテルン議員	《SPD》 ドイツ社会民主党
ティルマン・ホイスラー議員	《SPD》
サイッド・クラメ区職員 (姉妹都市交流担当)	
ダニエラ・ダ・コスタ区職員 (青少年プロジェクト支援及び国際交流担当)	
ノーベルト・ヴェスト氏 (青少年施設 Werk9 所長)	
ミカ・レオポルド氏 (青少年施設 Werk9 スタッフ)	

※出席予定だったタレク・マッサルメ議員《緑の党》は当日ご欠席

・新宿区出席者 (7 名)

ひやま真一議長
渡辺清人議員
佐藤佳一議員
井下田栄一議員
下杉正樹 (議会事務局長)
櫻本まり子 (多文化共生推進課長)
外山千尋 (多文化共生推進課)

◇表敬訪問、進行

- ① 名刺交換、自己紹介
- ② 新宿区議会議長あいさつ
- ③ ミッテ区長あいさつ
- ④ ミッテ区青少年担当理事者あいさつ
- ⑤ 記念品、お土産等贈呈
- ⑥ 意見交換会

【主な発言、意見交換の内容は次頁以降記載】

② 新宿区議会議長あいさつ（要約） ひやま真一議長

友好都市提携 30 周年にあたり、ご招待をいただきましたこと心より御礼申し上げます。吉住健一新宿区長は残念ながら訪問することはできませんでしたが、レムリンガー区長や議員の方々、また両国青少年とも交流できることを楽しみにしております。

交流のきっかけは 1990 年 12 月にカイザーヴィルヘルム記念教会の合唱団が来日し、新宿文化センターにて新宿区民の合唱団と共演されたことであり、その後お互いの青少年交流事業も始まり、1992 年 9 月には新宿区議会議員 11 名からなる訪問団がティアガルテン区を訪問しています。そうした積み重ねの上に、1994 年 7 月に友好都市提携調印を行い、30 周年の節目を迎えることができましたこと、両国の関係者に心からの御礼と敬意を表します。

ベルリンと聞くと、今から 35 年前のベルリンの壁崩壊は衝撃的な出来事として記憶していますが、国の分断という悲しい出来事を私たち日本人は経験していません。今回の訪問では、ベルリンの壁関係の施設や貴国の歴史に触れる様々な施設を見学させていただきたいと思っています。

話は変わりますが、ドイツでは地震はほとんど起きないと伺いました。日本は世界に名だたる地震大国であり、今年の 1 月 1 日にも能登半島地震という大きな地震が起こり甚大な被害が発生してしまいました。地震に対する対策や準備は重要課題の一つになっています。

ここで新宿区のことを紹介しますと、新宿区の面積はミッテ区の半分ほどですが約 35 万人の区民が暮らしており、その中で外国人は約 13 パーセントになります。東京 2020 オリンピック・パラリンピックの会場である国立競技場は新宿区にあります。機会がありましたら、ぜひ日本を、新宿区を訪ねていただければと思います。

日本には「百聞は一見に如かず」ということわざがあります。現代社会はインターネット環境のめざましい進展により、世界中の情報や映像・景色を見ることができます。しかし、こうしてミッテ区を訪問させていただき、区長や皆さまに直接お会いできたこと、そしてこの目で見ることや足で巡ること、直接触れること、肌で感じるということの大切さや尊さは、このことわざのとおりだと思います。

今回の訪問が、お互いの友情を深め、未来につながる実り多きものになりますよう、短い期間ではありますが大いに勉強させていただきたいと思います。

結びに、レムリンガー区長をはじめ、ミッテ区のさらなるご発展と、新宿区との友好が末永く継続されますよう、そして青少年交流事業の成功と発展を祈念申し上げ、私の御礼のあいさつとさせていただきます。ダンケシェーン！

③ ミッテ区長あいさつ（要約） シュテファニー・レムリンガー区長

親愛なるパートナー、親愛なる友人の皆様、私たちは今、ひやま議長がおっしゃったように、ミッテ区と新宿区との間の 30 年にもわたるパートナーシップに大きな喜びを持っています。それは共通の価値観と目標によって始まりました。文化の促進と教育について力を入れお互いの友情を維持してきました。両都市の姉妹都市関係を、今後も継続してい

きたいと思います。

この友情の中心的な柱は、国際的な青少年の出会いであり、それが原動力になっています。コロナ禍による中断やホストファミリーでの生活体験が制限されたりしたものの、青少年はこれまで交流を続けてきました。両地区の若者の参加は生涯にわたる友情となり、青少年の出会いは次世代の文化の発展にとって重要な構成要素であると信じています。若者は平和で寛容な共存の大使であるとともに、多文化に対する寛容さを通じて、市民の関与と民主的行動を促進するための力になります。

ここで、今ヨーロッパや中東で再び戦争が起きていることについて、私たちは非常に懸念しているということ、ひと言付け加えておきたいと思います。

さて、日本に行った青少年は、日本の着物を着てティーセレモニー（お茶会）に参加したとか、日本の文化とおもてなしに触れ大喜びで帰ってきます。新宿区での青少年交流を支援してくれているパートナーである新宿未来創造財団の皆さんに、ありがとうとお伝えください。

これまでの先人たちの献身と情熱、青少年交流施設「Werk 9」の協力のおかげで、青少年交流は私たちのパートナーシップにおいて不可欠な部分になっています。今夜、新宿から12人の若者がここベルリンに到着します。そして素晴らしいプログラムが彼らを待っています。この街の歴史的な中心部であるブランデンブルク門を巡るガイド付きツアーのプログラム、ベルリンの壁、ホロコーストメモリアルや連邦議会議事堂のガラスドーム見学。もちろんカレーヴルストなどの典型的なドイツ料理もお楽しみいただけます。

ぜひお互いに協力して、両区の間を維持し、これから何年もコラボレーションしていきましょう。ご訪問、ご清聴いただきありがとうございます。

④ 青少年担当理事者あいさつ（要約） クリストフ・ケラー理事者

皆さんの訪問、そしてこうしてお会いできたこと、本当に嬉しいです。両区の友好都市交流について、私もその一部でいられることに責任者として大きな喜びを感じています。特に嬉しいのは、区の視点、行政的な視点から見る点です。

また、ひやま議長から新宿区についてお話し下さり、詳しく知ることができたことにも感謝しています。私は、まだ日本に行ったことがありませんが、日本に行きたいと強く感じました。こうした機会を得られたら嬉しく思います。

さて、ミッテ区には見どころがたくさんあります。区長から先程、青少年たちを待っているプログラムについて話しましたが、私も木曜日に若者たちと会い、交流できることを特に楽しみにしています。私はアメリカに1年間滞在し、ホストファミリーと一緒に暮らした経験があります。外国の見知らぬ家に行き、新しい文化や伝統、価値観に触れ、そして一緒に食事をする経験がどのようなものか、私は知っています。どのような経験も非常に貴重で価値のあるものになります。

ひやま議長から音楽の話もありました。ドイツ音楽は有名であり、作品No. 9をはじめたくさんのお曲が作られてきました。青少年交流施設の「Werk 9」ではコンサートも開催され、若者たちに音楽を紹介できる場でもあります。この点は、私の仕事ともつながってお

り今後も有効だと思います。

今日、皆さんとお会いすることができ大変嬉しく思います。そして、木曜日は新宿の若者たちに会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。

⑤ 記念品、お土産等贈呈

レムリンガー区長から「子熊の置物」が訪問団にプレゼントされた。子熊はベルリン市のマーク（ベアとリンガーの語呂合わせで子熊）になっており、市内のいたるところで見かけられる。ベッセル元区長から、ドイツの伝統菓子バームクーヘンを頂いた。

ひやま議長からレムリンガー区長へ、クリスタル製の「友好都市提携 30 周年記念盾」を贈呈した。各議員からは「手ぬぐい本、浮世絵のメモ帳、議員紹介パンフレット、区議会ホームページのドイツ語訳」をミッテ区の参加者に手渡した。

メモ帳は葛飾北斎の浮世絵「赤富士」のデザインでミッテ区の議員方から「ホクサイ」との声があがる。手ぬぐい本については事務局長が使い方をご披露し、和やかな雰囲気のもとで意見交換会が始まった。

⑥ 意見交換会での主な発言要旨 ◎新宿区から ●ミッテ区から

◎（渡辺議員）コロナ後、新宿には多くの外国人が観光等でいらしているが、ベルリン市やミッテ区ではいかがか。

→（レムリンガー区長）壁の崩壊後、世界的にも重要な都市としてたくさんの方が訪ねており、年間 200 万人くらいか。最近も、サッカー欧州選手権で多くの方が来た。

ミッテ区は、ティアガルテン公園、オペラ座、ベルリンフィルハーモニー、博物館島などの多くの観光資源に恵まれており、たくさんの方が来られて嬉しい反面、区民生活に支障が生じることがあり、特に騒音問題やゴミ問題が課題になっている。バカンスで使われる民泊のようなものが増え、住民が住む部屋を見つけにくくなるといった影響もある。

◎（渡辺議員）民泊については新宿でも課題となりルールを作っている。住みたい人が部屋を見つけにくい、住めないような話があったが、家賃は上がっているのか。

→（レムリンガー区長）そのとおり。

◎（渡辺議員）ドイツのブンデスリーガでは多くの日本人が活躍している。新宿でも、今サッカーチームがあるので、いつかミッテ区とサッカー交流ができればいいと思う。日本にもぜひお越しいただきたい。

→（レムリンガー区長）ケラー理事者とも話したが、私たちは日本に行ったことがないので、ぜひ行きたいと思う。

◎（井下田議員）私は子どもが 3 人おり今子育て真最中だが、新宿区には様々な子育て施策がある中、新宿区独自の子育て支援策として、新小学 1 年生に 5 万円、新中学 1 年生に 10 万円それぞれ給付金を支給している。また 1 年限りではあるが学用品費の特

別給付金2万円も支給した。ミッテ区では何かユニークな、または独自の子育て施策などがあれば教えてほしい。

→ (レムリンガー区長) ミッテ区でも少子化が進行しているが、給付などの直接的な支援は特にしていない。国からはキンダーゲルト(子供手当)がもらえる。共働き世帯が多いので、子どもたちが通う幼稚園や保育園がもっと必要になってくる。ミッテ区ではここ10年間で8万人も人口が増えた。

◎ (井下田議員) 新宿区ではかつて保育園に入園できない待機児童が課題になっていたが、区の取り組みの結果、今は待機児童ゼロになっている。次に課題となるのは、小学生の放課後の預け先である学童クラブである。ミッテ区での状況はいかがか。

→ (ケラー理事者) 「Werk 9」(青少年交流施設=新宿区の青少年もここを中心にして活動や交流を行う)のような8歳から27歳までが通える施設を52か所作っている。

● (ホイスラー議員) 私はサッカーが大好き。5か月の子どもがおり、先ほどのプレゼントはとても嬉しい。そして青少年の交流ができる地域に生まれたことを誇りに思う。ベルリンの壁のこと、そして1989年の壁崩壊のことは両親から話を聞いている。ウィンターベルクというところには手で掘ったトンネルがあり、どうやったら西側に行けるかということばかりを考えていた、と話してくれた。

新宿区議会では、市民が参加したり意見を述べたりすることができるのか。

→ (佐藤議員) まず議会は傍聴することができる。また請願や陳情といった仕組みによって、自分たちの声を議会に届けることができる。

● (ホイスラー議員) 地震対策にはどのようなものがあるのか。

→ (佐藤議員) 南海トラフ地震などへの対策は、国の喫緊の課題である。

新宿区では首都直下地震への対策として、地震が起きても壊れないよう建物の耐震化を区が補助金を出して進めている。また、自宅で避難生活する人のために、食料や簡易トイレ等を支給するなど様々な支援を行っている。

● (ホイスラー議員) 低所得者用の住宅はあるのか。

→ (佐藤議員) 東京都や新宿区が持っている住宅を低所得者向けに活用している。

◇ (レムリンガー区長) 11時30分となり私は次の予定がありますが、皆さんは時間を延長して意見交換を続けてください。その前に皆さんと集合写真を撮りましょう。

● (レムケ議員) 東京オリンピック・パラリンピックのスタジアムが新宿区にあることは誇りだと思う。ベルリンもオリンピックを計画しているが、コロナ禍で行われたオリンピックを通じての課題などを教えてほしい。

→ (ひやま議長) 東京オリンピック・パラリンピックについては、東京都が主体となって行ったものであることを前提に要点を答えると、コロナ禍だったので、感染対策に力を入れたオリンピックであった。東日本大震災からの復興として東北地方にも競技会場を設定した。結果的に無観客のオリンピックとなったので、通常とは違うところが多々あった。選手村の跡地の活用なども苦労があったと伺っている。

経済面では、投資に対するレスポンスはかなり厳しく、実行委員会の予算が膨らんでしまったことも反省点であるといえる。一方、新しい道路の完成など都市機能としては拡充した。新宿区では、スタジアム周辺道路の整備なども行われた。

- （モルゲンシュテルン議員）日本の建築技術は大変素晴らしいことを私は知っている。都市では住宅を保持することが大変になっている。また住宅を投資目的に利用することがあり、住宅だったものがオフィスになってしまうこともある。新宿区では住宅に関する問題はどのようなものがあるか。
 - （渡辺議員）ドイツと同じように新宿区も土地の値段が高騰している。土地が限られているので、タワーマンションなどが建っているが値段が非常に高い。
 - （井下田議員）新宿区民の80%以上は、マンションなどの集合住宅に住んでいるといった大きな特徴がある。
 - （ひやま議長）人口が一極集中し、特に大都市東京の中心区に集まっている。
新宿区は、建築の条件緩和などインセンティブを付ける施策を行ってきたが、人口集中から公共施設が不足するなどの課題が多くなり方向転換をしている。

- （トラウトマン議員）人口の集中や密集について、どのような問題が想定されるか。
 - （佐藤議員）土地の値段が高いので、どうしてもタワーマンションなどが建つことになり、学校や公共施設等が不足するといった課題がある。また人口の大都市への一極集中によって地方の過疎化等が進み、大都市と地方との格差が生じてしまう。

(2) ティアガルテン庁舎議会室等の見学

ティアガルテン庁舎の2階に議会室がある。議会室は旧ティアガルテン区時代の議場であったが、現在のミッテ区議会議場は別の庁舎（ミッテ庁舎）にあるため、普段は議会や行政の会議などに使われている。議会室は天井が高く、大きな窓ガラスが二方面に配置され採光に優れている。1992年9月に新宿区議会議員海外事情視察団が旧ティアガルテン区を訪問した際には、ティアガルテン区議会議場として視察した。

3階の旧区長室は、ユダヤ人迫害に関する歴史を伝えることを目的に、資料展示室として公開されている。資料室のスタッフ3名が資料について説明してくれた。ティアガルテン庁舎は、戦前ナチスの建物として使用され、旧区長室はナチスの幹部の部屋であった。展示資料には、庁舎の壁面にナチスのマークが飾られている写真があった。他にナチスの時代にユダヤ人が強制連行された場所が記された地図等が展示されている。なお、資料展示室のスタッフの一人は、2016年3月にミッテ区から派遣され新宿区を訪れていた青少年であった。

(3) ミッテ区議会議員及びミッテ区関係者との昼食・懇談会

昼食・懇談会は、当初予定になかったケラー理事者及び2名の議員も参加された。食事をしながら和やかな雰囲気でお互いの議会制度や行政について懇談し、友好交流を深めた。

- ・シュプレー川沿いのレストラン 午後0時30分過ぎから午後2時前まで
- ・ミッテ区出席者（6名）

クリストフ・ケラー理事者（青少年担当）	《左派党》ディー・リンケ
シュテファン・フォン・ダッセル議員（元区長）	《緑の党》
ティルマン・ホイスラー議員	《SPD》ドイツ社会民主党
サイッド・クラメ区職員（姉妹都市交流担当）	
ダニエラ・ダ・コスタ区職員（青少年プロジェクト支援及び国際交流担当）	
ミカ・レオポルド氏（青少年施設 Werk9 スタッフ）	

◇主な懇談項目、内容

- ・ミッテ区議会の会派構成は、比例代表選挙のような仕組みで決まる。
- ・新宿区議会では、議員が予算や条例などの議案を審査し議決することが重要である。一方ミッテ区議会では、区長と理事者を決めることが特に重要である。
- ・区長と5人の理事者は、ミッテ区議会の会派構成で議員から選ばれる。
- ・ミッテ区議会議長は女性である。議員の男女比についてはほぼ同数である。
- ・議長は日本ではチェアマンと訳すのが一般的だが、ミッテ区では「前にいる人」と訳す。
- ・日本では首長と議長（議会）は二元代表制とされるが、ミッテ区では制度が異なる。
- ・ベルリン市にはセナと呼ばれる上院議会があり強い権限を持つ。
- ・新宿区議会議員は、区民から様々な分野・内容の相談を受け対応している。
- ・ミッテ区の区長と5人の理事者は、それぞれの担当分野が分けられている。
 - (1)人事、ファイナンス、トレーニング、文化〈レムリンガー区長が担当〉
 - (2)社会、市民へのサービス
 - (3)都市開発、ファシリティマネジメント
 - (4)学校、スポーツ
 - (5)秩序、環境
 - (6)青少年、家族、健康〈ケラー理事者が担当〉
- ・ミッテ区は、日本の政令指定都市の行政区の機能に近い。
- ・ミッテ区の職員数は約3,300人。ケラー理事者は650人の部下を持つ。
- ・ベルリン市にはかつて23の区があったが、2001年の統合で12区に編成された。
- ・ミッテ区の人口は12区の中で2番目に多く、今はおよそ40万人である。
- ・12区のうち旧東西ベルリンにまたがっているのは、ミッテ区を含め2区のみである。
- ・新宿区の人口、建物の高さなど、まちの特徴について紹介した。
- ・区民の高齢化問題はミッテ区でも課題となっている。
- ・建築物の高さ制限等はベルリン市に権限がある。
- ・小学校の教員採用はベルリン市の事務である。

(4) 青少年交流事業の視察、意見交換

① 青少年交流事業について

- ・主 催 公益財団法人新宿未来創造財団
- ・目 的 新宿区の友好提携都市であるベルリン市ミッテ区に新宿区の青少年が訪問し、施設見学・学習、地元の人々・青少年との交流、ホームステイなどを通じて、青少年が異文化への理解を深め地域社会を考える機会とする。
- ・訪問期間 令和6年8月19日（月）～8月30日（金）（10泊12日）
- ・主な活動 施設見学・学習、地元の人々・青少年との交流、ホームステイなど
- ・参加人数 12人（男性4人、女性8人）

② 青少年交流施設「Werk9」について

新宿区の青少年は、ミッテ区の青少年交流施設「Werk9（ベルクノイン）」を中心に交流事業を行う。Werk9は8歳から27歳までが通うことができ、音楽もできる施設でライブハウスに近い。ステージ、ホール、ベンチ、バーカウンター、事務室等があり飲食もできる。Werk9は倉庫を改修した施設であるとWerk9のスタッフから説明があった。

③ 新宿区青少年がミッテ区青少年と合同で行う主なプログラム

- ・ホロコーストメモリアルの見学及びWerk9での意見交換（8/21）
- ・ミッテ区青少年の家庭がホストファミリーとなりホームステイ経験（8/23～25）
- ・ベルリンの壁記念館やベルリンの壁博物館の見学（8/27）
- ・Werk9でのさよならパーティーの実施（8/28）

④ 新宿区青少年のオリエンテーション視察（8/20）

新宿区の青少年は、ミッテ区での活動の一番初めに、青少年交流事業の通訳兼コーディネーターである大西陽子さんからのオリエンテーションを受ける。大西さんは、新宿区とミッテ区の青少年交流事業を約20年間担当され、新宿区及びミッテ区の事情について明るい。

オリエンテーションは、交流事業参加にあたっての心構えや注意事項を説明するとともに、仲間づくりやコミュニケーションの意識を高めることなどを目的に行われた。

◇オリエンテーションの主な内容

- ・訪問期間中、自分がしてもらいたいこと、して欲しくないことを率直に話す。
 - ・語学力はそれぞれ違いがあるので、お互いにサポートして助け合うことの大切さを認識する。
 - ・文化や食事など様々なことについて、どうしても日本と比べてしまうと思うが、スタンダードなのは今いる国（ドイツ）であると自覚する。
 - ・3分間目をつむるゲームを通じて、人それぞれ違いがあることを実感する。
 - ・自分以外のまわりの人にも心を寄せ、声をかけていくことの大切さを認識する。
- など、興味深い内容であった。

⑤ 新宿区青少年との交流、意見交換（8/20）

議員と青少年は、海外友好都市ミッテ区との友好交流という訪問目的を同じくしていることから、この機会に議員と青少年との交流、意見交換を Werk9 で実施した。

意見交換実施にあたり、当初大きな輪になって全員で話すことを想定していたが、井下田議員の提案により少人数に分かれ、議員 1 人と青少年 3 人（男性 1 人、女性 2 人）の 4 人グループとなって意見交換を行うこととした。少人数に分かれたことで、お互いにリラックスした雰囲気の中で、約 40 分間にわたり活発に意見を交わすことができた。

◇意見交換の主な項目

（ひやま議長）

- ・昨日のミッテ区長表敬及びミッテ区関係者との昼食懇談会の内容について
- ・言葉に勝るコミュニケーションのツールを持つことがとても大事だということ
- ・議員の仕事、特に議長の仕事はどのようなものか

（渡辺議員）

- ・青少年の皆さんはミッテ区を訪問して何をやってみたいか
- ・区議会議員はどのような役割を持ち、どのような仕事をしているのか
- ・どうすれば新宿区を良くしていけるか、新宿区の魅力などについて

（佐藤議員）

- ・青少年交流に応募したきっかけ、ドイツに来てみて感じたことについて
- ・なぜ区議会議員になったのか
- ・ミッテ区長表敬の内容、友好都市提携 30 周年の意義について

（井下田議員）

- ・青少年交流事業に参加してみようと思った動機について
- ・青少年の皆さんの将来の夢について
- ・区議会議員は普段どのようなことをしているのか

議員と話をするのは初めてのことだったのでとても良かったとの青少年の感想を、翌日、新宿未来創造財団の団長から聞くことができた。

⑥ 新宿区青少年とミッテ区青少年の交流事業の視察（8/21）

8月21日の交流事業に参加したミッテ区青少年は11人（男性1人、女性10人）で、昨年夏の青少年交流事業で新宿区を訪問している。両国の青少年が顔を合わせるのは今日が初めてで、青少年たちは合同でホロコーストメモリアルを見学してから Werk9 に到着した。

Werk9で両国の青少年たちは3つのグループに分かれて交流が始まった。コミュニケーションは主に英語を使って会話をしており、前日のオリエンテーションで説明があった語学力については、お互いに助け合いながら会話を進めているようである。新宿区の青少年は、翌日ミッテ区長を表敬訪問し、ドイツ語での自己紹介と今回の訪問の抱負等について話すことになっている。初めのうちは緊張した姿も見られたが、青少年同士すぐに打ち解けていた。なお、新宿区の青少年はミッテ区の家庭に3日間ホームステイするが、ホームステイ先のマッチングはミッテ区側ですべて調整していると新宿未来創造財団の団長から伺った。

(5) ドイツ連邦議会議事堂、壁関連施設等の視察

◇施設等の視察にあたり、ドイツに長く在住の日本人の方がガイドを担当。移動中や視察時の説明のほか、議員からの様々な質問にも的確に答えてくれ見聞を深めることができた。

① ドイツ連邦議会議事堂

ドイツ連邦議会議事堂は、帝国議会議事堂として1894年に完成したが、1933年に放火により全焼した。東西ドイツの統一を機に連邦議会のベルリン移転が決まり、1999年に現在の連邦議会議事堂となった。

特徴的なのは、議場の天井部分にあるガラスのドームであり、ドーム内をスロープに沿って歩くことができる。議場の天井もガラスになっており、上から議場を覗くことができる。議員は常に見られていることを意識しなければならない、との意味だとガイドから説明があった。議場は外の光を取り込み大変明るく、傍聴席は多数設置されている。

② ベルリンの壁関連施設

ベルリンの壁記念館は、ミッテ区中心からやや北寄りに位置し、ベルリンの壁及び緩衝地帯や監視塔など東西ベルリンの境界にあったものが当時のまま残されている。壁を越えてもすぐに西ベルリン側とならないよう緩衝地帯は数十メートル設けられていた。緩衝地帯は、地雷、犬、針状のとげのような突起物などでガードされ、監視塔からは24時間監視していたとガイドから説明があった。西ベルリンへの脱出をさせないために、壁周辺の警備を厳しくして市民を監視していたことがわかる。記念館にはベルリンの壁の歴史や資料が多数展示されている。新宿区の青少年がミッテ区の青少年とともに訪れる場所である。

チェックポイント・チャーリーは、東西ベルリン分断時代に検問所があった場所である。近くに壁博物館があり、壁の構築から崩壊までの歴史が詳しく解説されている。東側から西側への脱出方法について、実物や写真等で紹介されている。車のシートの中に隠れる方法、トランクケースを2個連結して隠れる方法、スピーカーの中に隠れる方法などの実物が展示されていた。どうやったら西側に行けるかということばかりを考えていた、というホイスラー議員のご両親の話が思い出される。

今回の訪問では、イーストサイドギャラリーを含めベルリンの壁関連施設を3か所見学した。市内には他にも壁が残されているところがあり、移動中に見ることができた。30年近く存在したベルリンの壁は、撤去された場所に石が2列並んで埋め込まれるなど、東西ベルリンの象徴としていつまでも記憶に残るようにしているとガイドから説明を受けた。

また、移動中に大きな飛行機が飾られている博物館の前を通った。西ベルリンが封鎖された際、米英側から市民の生活物資を西ベルリンのテンペルホーフ空港にピストン輸送した飛行機で、感謝の意味を込めて展示しているとガイドから説明を受けた。

③ ホロコーストメモリアル

虐殺されたヨーロッパのユダヤ人のための記念碑として 2005 年に完成、広大な敷地にコンクリートでできた 2m×1m ほどの長方形のオブジェが 2,711 基、等間隔に並べられている。新宿区の青少年がミッテ区の青少年とともに訪れる場所である。

ここは一人で歩いて回り、感じたことを大切にしてもらいたいとガイドから説明があり、議員はそれぞれメモリアル内に入った。中はオブジェによって迷路のような作りになっており、地面には波打つような傾斜が作られている。オブジェの高さは数十センチメートルから 3メートルほどまで様々であり、中央に行くほど高さが増していく。オブジェに囲まれた場所を歩くことで、ある者には不安を、また絶望や諦めといった様々な感情や過去への思いに人々を駆り立てる場所であるとの説明を受けた。

ホロコーストについては、ホロコーストメモリアルのドイツ人ガイドから詳しい説明があった。ブランデンブルク門近くの一等地にこうしたメモリアルを作ったことは、ドイツ人として大変意味深いことだと話してくれた。

④ その他

ベルリンの歴史的建造物には世界各国から多くの人を訪れるが、案内表示や説明、パンフレット等の多言語対応については、ほとんどの施設が「ドイツ語、英語、フランス語」であり、まれに「スペイン語、中国語」がある程度であった。一方、シャルロッテンブルク宮殿では、案内アプリをスマートフォンに読み込むことで「日本語」を含めた 10 か国語対応のオーディオガイドを聞くことができた。

ベルリン大聖堂は、教会内の 270 段の階段を昇るとドーム部分からミッテ区内を望むことができる。実際にミッテ区内を一望してみると、高い建物といえばテレビ塔の周辺付近が目にとまる程度であり、新宿区との違いが特に際立った。ミッテ区の議員が意見交換時に、人口集中への対応として建物の高さ制限の話をしてしたが、高層ビルやタワーマンションなど新宿でよく見られる建物はほとんどなかった。

ミッテ区内でよく目にしたのがゴミ箱である。広場や道端、歩道には公共のゴミ箱が多数設置されている。アレクサンダー広場ではステンレス製の球形のゴミ箱が多数設置されている。歩道にはオレンジ色の小さなゴミ箱が設置されている。なお、滞在中にゴミ回収の様子を見ることはできなかった。また、ミッテ区内では電柱及び電線は見かけなかった。

9 各訪問議員の所感、訪問視察等報告

(1) ひやま真一議長

今回、友好都市提携 30 周年を迎えるミッテ区からの招待を受け、新宿区議会を代表して 3 名の議員とともに訪問させていただきました。

ミッテ区長表敬訪問、ミッテ区議会との交流については、私のあいさつの中でも今後の友好関係の継続及び青少年交流事業の重要性について言及し、また議論の題材になるようなことを盛り込んでおりましたので、その後の意見交換ではお互いに友好的な雰囲気の中で、議員同士も友好都市であるという関係性をもって、両区の施策について具体的な意見交換ができたと考えております。地震対策、住宅まちづくり、オリンピックの事など、ミッテ区側からもたくさんの質問をいただき、新宿区や国の施策を紹介しながら大変有意義な議論ができました。また、通訳の方がとても優秀な方で、専門的な用語をどのように訳すのかについても非常に長けており、スムーズに意見交換を行うことができました。

その後の昼食会には、当初参加予定ではなかった複数の議員の方々が引き続きご参加いただきさらに詳細な意見交換ができましたことは、嬉しさとともにお互い大いに刺激となりました。

こうしたことを含めまして、友好都市提携 30 周年という節目の訪問にあたり、重要な目的である友好の確認と交流の継続という大任を果たすことができたものと考えております。

また、青少年の交流事業を直接この目で視察することができ、かつ親しく交流ができたことで青少年交流事業の様々な課題も把握できました。このほかベルリンの壁関連施設をはじめとした友好都市ミッテ区の歴史や文化などにも触れさせていただき貴重な機会を得られ、大変に有意義な訪問視察を経験してまいりました。今後議会としても、議論、検討していくべきことなども確認できたものと考えています。

(2) 渡辺清人議員

副議長の代理として選出され、議決により派遣させてもらえたことに感謝しています。

ミッテ区を表敬訪問した際、当初はお互いに多少緊張しているように思いましたが、当初予定していた 1 時間 30 分の時間では全く足らず、意見交換を 30 分ほど延長していただけるなど、友好的かつ大いに盛り上がった内容の濃い意見交換会となりました。ミッテ区議会は、議員から区長や理事者を決めるということが特徴的かつ重要な役割であることから、国によって議会の権限や役割は大変違うものであることを実感しました。今回の訪問を通じて大いに学びや気づきがありました。やはり直接見てみないと本当にわからないことだらけであると感じています。

あわせて、青少年交流事業を視察する中で、両国の青少年たちは、お互いに初めて会ってもすぐに打ち解けていく姿を見て、若者達はすごいなという印象を受けました。

今回議会として初めて青少年交流を直接拝見することができたことによって、いい面を含め様々な点について、見つめることができたと感じています。

(3) 佐藤佳一議員

総務区民委員会の委員長として、議決をいただきミッテ区を訪問させていただきました。貴重な経験をすることができ感謝しています。ひやま議長から、ご招待をいただき議員が30年振りに訪問できたことについて心を込めてあいさつされると、レムリンガー区長からは30年間の友好の原動力は青少年の国際的な交流であることなど、素晴らしいごあいさつをいただきました。

新宿の青少年とのディスカッションでは、多文化共生に興味があるとか留学生をサポートしているからなど、率直な応募の動機を聞くことができました。今回友好都市提携30周年記念の節目に現職の議員が直接訪問させていただけたこと、交流事業に参加した青少年にとっては今後の人生に必ずプラスになること、なによりミッテ区長をはじめミッテ区議会議員や職員の方と直接会って交流できたことは、両区にとっても青少年にとっても、とても大事なことであったと痛感しました。青少年交流事業を長年支えてこられた多くの方に、所管である総務区民委員会の委員長として感謝いたします。

(4) 井下田栄一議員

総務区民委員会の副委員長の代理として、議決により派遣させていただきましたことに感謝いたします。ミッテ区長表敬時に、私は少子化対策、子育て支援について意見交換させていただき、ミッテ区も同じ課題を抱えていることがわかりました。また、ミッテ区の議会制度についても学ぶことができ、その違いを含め大変勉強になりました。青少年交流事業では、通訳兼コーディネーターをされている大西陽子さんがとても素晴らしく、交流事業が長く継続している原動力になってくださっているのだということも、視察をしてみて初めてわかりました。

ベルリンのまちはいたるところにベルリンの壁やその跡が残っていて、記念館では壁があった時代の様子を直接見ることができました。壁の歴史やそこで起きていた残虐な現実を通して、改めて戦争の悲惨さと平和の尊さを感じずにはいられませんでした。

来年4月には、ミッテ区の青少年が新宿区を訪問する予定になっているので、今後も議員として青少年交流事業を見守っていきたいと思います。

以上